



新歯科進化論

< 7 >

赤司 征大



スマートフォンが世帯当たり普及率は、2015年度で67.4%となっています(内閣府・消費者動向調査)。人類の歴史の中で、スマホはポータビリティーの高さから最も文字が読まれる時代を切り開いたといえます。ひと昔前の文字媒体は新聞、雑誌、書籍が代表格でしたが、現代人はスマホで手軽に文字情報にアクセスし、ニュースやイベント、知識、商品など、さまざまな情報を入手するようになりました。07年のiPhoneの発売からわずか10年間での変化です。

スマホが変える

歯科医療情報伝達



実は、この情報の在り方の変化によって、最もインパクトを与える職種の一つに歯科医療があるのではないかと私は考えています。歯科医療界の情報媒体は、各出版社が発行する新聞、雑誌、専門書がこれまでのメインでした。歯科治療は、知識を技術に当てるため、そ

れに経験を重ねた小外科手術の連続です。これを情報として伝達する時に、「文字×写真」と「文字×写真×動画」では、その情報の幅や深さに大きな差が

WILEY-BLACKWELLを出版社にする気はありません。それには二つの理由があります。一つはポータルサイトだから持ち得るキ

換することで、より多くの紙の専門書が売れる時代がくると考えているからです。歯科出版業界が時間をかけて蓄積してきた書籍を作り上げるノウハウや信頼性は、これからの時代も歯科医療の発展に必要不可欠です。ゼロイチでノウハウを蓄積し、自社書籍のみを扱うサイトとして発展させるのではな

く、さまざまな専門書の発売や存在の情報発信すること、業界全体の価値を高めていきたいと考えているからです。

二つ目は、購入した紙の書籍に付属を貼ったり、線を引いたり、書き込みをして読みかえすのが人間の学びのスタイルで、それは今も変わらないと考えているからです。

ITは時として魔法の杖と見られたり、アレルギー反応を起こしたりしますが、その限界を理解しながら正しく使うことができれば、世界をより良いものにしていくことができます。私が目指しているのは歯科医療発展のための活用です。

(歯科医師、中小企業診断士、MBA)